

東広島市のコロナウイルス感染症対策の概要（令和2年度子育て関連補正予算分）**生活者支援****1 生活支援****DV等被害者緊急支援(2,175千円)**

DV被害・児童虐待被害の未然防止、拡大防止を図るため、相談体制の充実を図るとともに、DV等被害者の一時避難場所を提供するなど、セーフティネット機能を強化する。

○支援策

- ・ 専門家による相談体制の充実
- ・ 一時避難場所（民間宿泊施設）の提供
- ・ 母子生活支援施設への入所経費の負担

2 子ども支援・保護者支援**子育て世帯への臨時特別給付金給付(280,022千円)**

国による子育て世帯の生活を支援する取組みの一つとして、児童手当を受給する世帯に対し臨時特別給付金を給付する。

○給付対象者見込

27,256人

○給付額

272,560千円（対象児童1人につき1万円）

ひとり親世帯への子育て特別給付金給付(61,322千円)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、収入の減少や子育ての負担など、影響を大きく受けると予想されるひとり親家庭のうち、児童扶養手当の受給世帯に対して、経済的支援を行うため、子育て特別給付金を給付する。

○給付対象世帯見込

1,200世帯

○給付額

60,000千円（対象世帯1世帯につき5万円）

ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業(217,353千円)

子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じており、子育ての負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、国の臨時特別給付金を早期に支給する。

○給付対象世帯見込

約2,700世帯

○給付額

214,200千円

- ・ 児童扶養手当受給世帯等 1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円
- ・ 収入が減少した児童扶養手当受給世帯等への加算 1世帯5万円

乳幼児健康診査個別健診(48,000千円)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集団で行う乳幼児健診の実施が困難であるため、市指定の医療機関での個別健診に変更し、健康診査の機会を確保する。

○実施方法

市の交付する受診券により、対象者が個別に医療機関で受診

○対象者

- ・ 3～4 か月児健診：約1,500人
- ・ 1歳6 か月児健診：約1,700人
- ・ 3歳児健診：約1,800人

妊産婦支援(1,000千円)

里帰り出産の取りやめなどで産前、産後の支援が得られにくくなっている妊産婦に対し、出産前後のサポートの自己負担を無料とするほか、妊産婦に対する感染予防対策としてマスクを配付する。

○支援策

- ・ 産後ケア、産前産後サポートの補助
- ・ 妊婦用布マスクの配付（2枚/月）

学校等の休業に伴う保護者負担の軽減(5,555千円)

学校等の休業に伴う保護者負担の軽減として、5月末までの放課後児童クラブにおける給食提供や、ファミリーサポートの利用助成を行う。

○負担軽減策

- ・ 放課後児童クラブ利用児童への給食提供（約1,000人分/日）
- ・ ファミリーサポート利用助成

保育施設等における感染予防(39,199千円)

保育施設等に係る新型コロナウイルス感染症予防対策として、感染予防用品を整備する。民間の保育施設等については、感染予防用品の購入に対する補助を行う。

○対象施設

公立保育所、私立保育所、認定こども園、認可外保育施設、病児・病後児保育施設等

放課後児童クラブ補助員の増員(18,903千円)

再度の緊急事態宣言に備え、児童クラブを分散して運営できるよう体制を整える。また、様々な遊びを学び、児童のストレス解消を図るため、大学生の補助員も雇用する。

○対象小学校区

西条、龍王、寺西、三ツ城、郷田、御園宇、高屋西、高美が丘

○大学生補助員の雇用

24人（週1回程度） 令和2年7月～令和3年3月

3 障害者支援

障害児者生活支援(14,942千円)

在宅の障害児者の身の回りの世話をする同居者等が、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、また、濃厚接触者となった場合に、残される障害児者の生活支援を実施する。

○対象

市内在住で在宅生活をしている障害児者

○支援策

対象障害児者を安全な場所へ移送の上、生活支援を実施

教育支援

1 GIGAスクールの推進

小中学校へのタブレット整備(30,702千円)

令和5年度を目標としていた小中学校児童生徒1人に1台のタブレット整備を前倒しし、令和2年度中の整備完了を目指す。

○整備台数

- ・小学校整備台数 7,600台 (※当初予算措置分を含んだR2年度整備台数 11,400台)
- ・中学校整備台数 3,080台 (※当初予算措置分を含んだR2年度整備台数 4,620台)

小中学校GIGAスクールの環境整備(122,450千円)

GIGAスクールの実現に向け、ICT教育環境の整備を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業に備え、オンラインでの家庭学習が可能となるようインターネット通信環境を整備する。

○内容

- ・就学援助世帯へのモバイルルーターの貸与及び通信料の支援
- ・ICT機器整備 (カメラ・マイク・大型提示装置)
- ・教職員へのICT研修
- ・GIGAスクールサポーターの配置

GIGAスクールの周知・共有(4,500千円)

GIGAスクールの実現に向け、本市が目指すICTを活用した教育の基本的な考え方と方向性を児童生徒の保護者や教職員に周知し、共有を図る。

○内容

- ・小中学校の保護者及び教職員を対象とした説明会の開催 (10月～12月頃)

2 学習支援

小中学生学習教材支援(81,000千円)

市立小中学校の臨時休校が長期化する場合に備え、児童生徒の家庭学習の充実を図るため、学習教材を学校・学年単位で購入し、児童生徒に配布する。

○対象児童・生徒数

小学生 11,400人 中学生 4,800人

○支援額

1人当たり5,000円を上限

○配布予定教材

学習ドリル、問題集、英語音声CD、実験・栽培キット、星座早見盤、リコーダー練習帳など

小中学校授業支援スクールサポーターの増員配置(12,240千円)

小中学校の臨時休業に伴う学習の遅れに対応するため、スクールサポーター(授業補助員)を増員し、小学校6年生、中学校3年生の学級を中心に派遣する。

○人数

延べ160人 (12,000時間) (令和2年7月～令和3年3月)

小中学校ICT学習教材整備(16,545千円)

ICTを活用した学習を試行するとともに、再度臨時休業が実施された場合の自宅学習体制を整備する。

○内容

デジタルドリル 5教科

3 学校生活支援

幼稚園・小中学校における感染予防(24,392千円)

幼稚園及び小中学校における感染拡大を防止するため、保健衛生用品を購入し、感染リスクの軽減を図る。

○保健衛生用品

非接触体温計、泡ハンドソープ、ペーパータオル、加湿空気清浄機

スクールバス過密乗車の解消(23,446千円)

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、スクールバスを増車し、1台あたりの乗車率を50%以下とする。

○対応校

西志和小学校（大型バス1台）、河内小学校（小型バス1台）、
入野小学校（小型バス1台）、豊栄小学校（ジャンボタクシー1台）、
高屋中学校（小型バス1台）

コミュニティ・スクール感染症対策支援(1,800千円)

コロナ禍においてもコミュニティ・スクールの活動を推進するため、3密を避けるための交流スペースの整備等を行う地域学校協働活動を支援する。

○支援内容

3密を避けるための会議、会合スペースなど感染症対策のための原材料の支援

小中学校・幼稚園における感染予防(32,166千円)

小中学校及び幼稚園における感染拡大を防止するため、保健衛生用品を購入し、感染リスク軽減を図る。

○保健衛生用品

非接触型体温計、泡ハンドソープ、消毒用アルコール